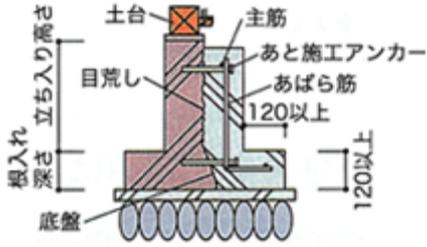
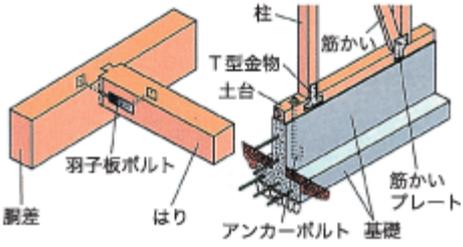
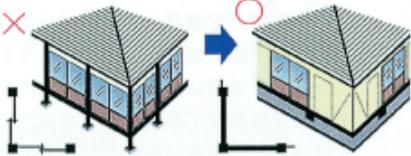


耐震改修工事

【木造住宅の場合】

基礎の補強	はり・土台・柱・筋かいなどの 接合部の補強
<p>玉石に東立してただけの柱は、鉄筋コンクリート造の布基礎とし、アンカーボルトで土台と一体にしましょう。</p> <p>【費用 3 万円/m（基礎長さ）】</p> <p>基礎の底盤の幅が不足していたり、基礎に鉄筋が入っていない場合には、基礎を増し打ちするなどして、既存のコンクリート造布基礎を補強しましょう。</p> <p>【費用 2~3 万円/m（基礎長さ）】</p> 	<p>土台・柱・筋かい・梁などの接合部は専用の金物等を使い、それぞれの部材が一体となるよう緊結しましょう。</p> <p>柱と土台→アンカーボルト、ホールダウン金物 【3 千円/箇所（※3）】</p> <p>柱とはり→羽子板ボルトによる引き止め 【3 千円/箇所（※3）】</p> <p>柱とはりと筋かい、柱と土台と筋交い→筋かいプレート、ひら金物と T 型もしくは V 型金物柱と土台と筋かいの併用 【費用 3 千円/箇所（※3）】</p> <p>（※3）外壁等の補修工事は別途費用がかかります。</p> 
<p>筋かいを入れたり、構造用合板をはって強い壁（耐力壁）を増やす補強</p>	<p>屋根の軽量化</p>
<p>柱、はりだけでは地震の力に抵抗できません。開口部（ガラス戸）を減らし、筋かいや構造用合板で補強された壁を増やしましょう。壁を釣合いよく増やすことにより、より大きな地震の力に耐えられます。</p> <p>隅部を壁にすると一層効果的となります。</p> <p>【費用 12 万円/箇所（壁長 910cm）】</p> 	<p>屋根を軽くすることによって、建物に作用する地震の力が減るので、大地震時に壊れにくくなります。</p> <p>【費用 1 万円/m²（※4）】</p> <p>（※4）野地板の張替え、足場の組み方により別途費用がかかります。</p>  <p>重い瓦 軽いスレート</p>